

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	61	学校名	静岡県立小笠高等学校	校長名	新林 章輝
------	----	-----	------------	-----	-------

1 スクールミッション

県内屈指の授業科目数を誇る総合学科高校として、校訓「至誠実行」のもと、生徒一人ひとりのニーズに対応した授業や、充実した探究的な学習・課題解決型学習を通して、地域社会の未来を支え貢献しようとする人材の育成を目指す。

2 スクールポリシー（育てたい6つの力）

育てたい力	将来に向けて (グラデュエーション・ポリシー)	学びの方針 (カリキュラム・ポリシー)	求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)
探究力	専門性を社会の課題に応用する資質	5つの探究科目・基礎学力の定着 ICTの活用	実現させたい夢や目標を持つ生徒
発信力	地域社会に貢献する資質	課題解決型学習の発表 各系列を横断する学習活動	意思を伝えることができる生徒
協働力	互いを尊重し認め合い対等の立場で力を合わせる資質	対話型学習 学校行事・生徒会活動・部活動	目的を共有することができる生徒
受容力	多様な人々と主体的にコミュニケーションができる資質	一人ひとりのニーズに対応した授業	多様なかかわりを大切にすることができる生徒
設計力	実現させたい夢や目標を設計できる資質	適性を活かした進路サポート	計画的に行動ができる生徒
継続力	実現させたい夢や目標をあきらめずに継続できる資質	探究活動の積み重ね	成長し続けたい生徒

3 スクールポリシー具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣の確立と社会性の育成
- イ 安全で安心できる学校生活の確保
- ウ 基礎学力の定着と主体的な学びの実現
- エ 体系的なキャリア教育と進路指導の充実
- オ 特別活動、課外活動、地域との連携活動の活性化及び情報発信
- カ 教育環境の整備と事務業務の効率化
- キ 教職員の勤務状況改善の推進

4 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣の確立と社会性の育成	全校集会や年次集会等を活用して全職員で統一した指導を行う。 進んで挨拶、時間を守る、身だしなみを整える等の習慣化と、マナー向上を心掛けた生活の推進。	・挨拶、時間、服装の習慣化とマナー向上を心掛けた生徒 90%以上 ・不注意遅刻の生徒 月 10 人以下 ・提出物を期限内に提出する生徒 90%以上	生徒課 教務課
		交通安全教室や委員会活動を通して、交通ルール・マナーの遵守、交通安全意識の高揚を図る。	・交通事故・違反数 年間 10 件以内 ・自転車の未施錠点検を週 1 回行っている。	生徒課
イ	安全で安心	危機管理マニュアルに則した実	・校内防災訓練及び防災教育を計画的に行	総務課

	できる学校生活の確保	<p>実践的な危機管理を行うとともに、地域防災訓練への参加を促進する。</p>	<p>っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫点検を2か月に1回行っている。 ・地域防災訓練への参加率 75%以上 	
		<p>資料や研修報告の共有及び啓蒙活動により、人権尊重の精神に基づいた教育活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の伝達研修及び校内研修の実施 ・人権意識の視点に立った教育を適切に行っている職員 90%以上 	研修課
		<p>生徒相談室・養護教諭・担任・年次・カウンセラー等が連携し、問題や悩みをもつ生徒のケアを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なケース会議を迅速に実施している。 ・「心の健康状態調査」を年2回実施し、個別データに対する確実な支援を実施する。 	相談室 保健課 年次
		<p>清潔な生活環境を保ち、校内美化とごみの削減を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別・削減を心掛けている生徒 90%以上 	保健課
ウ	基礎学力の定着と主体的な学びの実現	<p>アクティブな授業と適切な学習課題を通じて、基礎学力・技能を習得させるとともに、思考力・判断力・表現力等を向上させる。 「高校生のための学びの基礎診断」を有効に活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいる生徒 80%以上 ・家庭学習に取り組む生徒 75%以上 ・検討結果を関係教員と共有し学習指導の改善に役立てている。 	教務課 進路課
		<p>生徒による授業評価を年間2回実施し、結果に基づいた授業改善を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に満足している生徒 80%以上 ・授業評価の結果を活用する教員 80%以上 	教務課
		<p>読書記録をつけることにより読書活動を推進し、朝読書を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の実施により、落ち着いて学校生活をスタートすることができた生徒 90%以上 	図書課
		<p>「進路探究」「産業社会と人間」「地域探究」「茶文化探究」「課題研究」に取り組み、「探究力」と「発信力」を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次は探究サイクルの学びを重視、2年次は探究したい問いの発見を重視、3年次は成果を伝え、活動実践を重視して取り組んでいる。 ・「課題研究発表会」の成果発表に対する生徒の肯定的評価 平均 80%以上 	教務課 年次 教科
エ	体系的なキャリア教育と進路指導の充実	<p>キャリア教育、進路学習、インターンシップ等を、関係市、企業等と連携して実施することにより、系列・科目と進路の選択を支援し、3年間を見通した「設計力」「継続力」を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」「進路探究」を通して「設計力」「継続力」を身に付けた生徒 80%以上 ・1、2年次企業説明会の満足度 80%以上 ・就職希望者全員及び希望者のインターンシップ実施 	進路課 教務課 年次
		<p>企業訪問による情報収集及び、企業説明会の実施により、生徒への正確な情報提供と実効性のある就職支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の適性を活かした企業選択ができた生徒 90%以上 ・保護者による就職模擬面接の実施 ・就職希望者の一次募集での内定率 80%以上 	進路課 年次
		<p>大学進学希望者の主体性を促し、1年次から系統的な指導を行う。 進学に関する検討会や会議を、各年次において計画的に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会や会議において必要な情報を関係職員が共有し、進学指導に活用している。 ・進学希望者の第一志望達成 80%以上 	進路課 年次
	特別活動、課外活動、	<p>学校行事、生徒会活動、ホームルーム活動は、目的意識を明確にした取組になるよう工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や体育大会、ホームルーム活動等主体的に取り組んだ生徒 90%以上 	生徒課 年次
		<p>部活動を通して向上心と社会性を育み、部活動の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動を通して、「協働力」「受容力」を向上させた生徒 90%以上 	生徒課 各部

オ	地域との連携活動の活性化と情報発信	菊川市、地域の教育機関、諸団体との連携・交流を、組織的に、継続的に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究等の授業、生徒会活動、部活動等の活動において、地域との連携・交流活動を活発に実践している。 「小さな収穫祭」の実施。 	教務課 生徒課 教科 関係部
		コミュニティ・スクールを通して地域や保護者等との協働を図り、信頼される学校づくりを推進する。	「地域とともにある学校」をめざし、学校運営に対する支援の拡充に向けて協議する場となる。	管理職
		ホームページや年次通信により地域、保護者に情報を提供する。	学校ホームページ記事のアップロード数 月平均 20 本以上	広報課
		一日体験入学の行事等を通じて、中学生に本校の魅力を伝える。	一日体験入学、オープンスクールの参加者の満足度 90%以上	広報課
カ	教育環境の整備と事務業務の効率化	ICT、図書、教具等が効果的に活用できる教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業を行う教員 80% 職員の要望を取り入れた図書資料の整備を行っている。 	情報管理 教務課 図書課
		適正な学校経営予算の編成と執行、施設・設備の効果的な管理と運用、教育備品の充実に努める。	施設・設備の補修、備品等の購入を、優先順位を明確にして的確に行っている。	事務部
キ	職員の勤務状況改善の推進	各分掌、委員会、年次、教科等の年間を見通した業務の精選と効率化を図るとともに、職員の資質向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 業務を精選・整理した分掌等 90%以上 校内研修の内容満足度 85%以上 	各課 年次 教科 研修課 全職員
		勤務時間管理を適正に行い、各職員が設定した定時退勤日を設ける。	各自で設定した定時退勤日を概ね実践している職員 80%以上	